

1. 本県周辺海域の概況(図1, 4/20現在)

- ・黒潮の流型はC型で推移しています。黒潮本流は、犬吠埼の東南東50マイルを東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39°00 東経143°00 付近(三陸沖)にあります。親潮の面積は平年並みとなっています。東北海域の海面水温は平年より低い状態が続いています(気象庁4/20発表)。
- ・本県沿岸域と北部沖合では親潮系冷水の影響が残っています。一方、大洗～犬吠埼沖合域には暖水の流入が見られます。

2. 海洋観測結果(4/13～14: 調査船「いばらき丸」)

- ・荒天により、会瀬・大洗定線では東経141°30 まで、鹿島定線では141°15 まで、犬吠埼定線では東経141°00 のみの観測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～12に、会瀬・大洗・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図13～15に、会瀬・鹿島の鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で6.0 ～8.0 , 大洗沖で8.5～16.6 , 鹿島沖で8.8～15.8 , 犬吠埼で9.8 でした(, 図2)。
- ・前月と比べると、暖水の影響により、大洗～鹿島沖の0～100m深で昇温しました()。一方、会瀬定線及び沿岸域は、前月とほぼ同じ水温でした。
- ・平年と比べると、暖水の流入があった大洗・鹿島沖の0～100m深では「高め」となりましたが、その他海域では0～200m深の広い範囲で概ね「低め」でした()。
- ・潮流の特徴として、沿岸域は逆潮傾向となっており、会瀬～大洗沖では東向きの潮流が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型はC型で推移するとみられ、犬吠埼沖を東北東～北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並みか平年より小さめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯38°30 , 東経143°00 (金華山沖)に位置するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、沿岸域と北部沖合で冷水の影響が残り「低め」となるでしょう。また、南部沖合域の表層では暖水の影響により「平年並み～高め」となりますが、下層では引き続き冷水の影響が残ると予測されます。

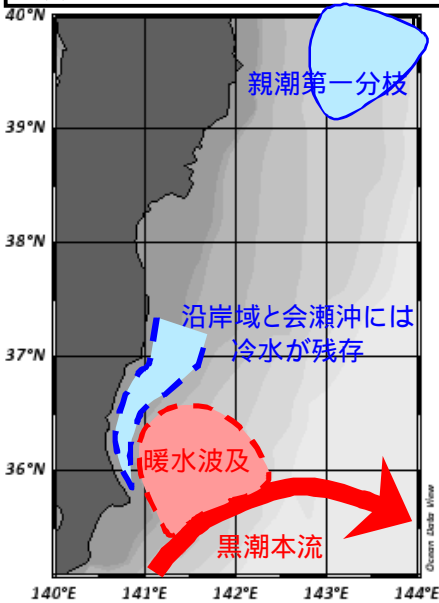


図1 海況の概要 (4月20日現在)

